

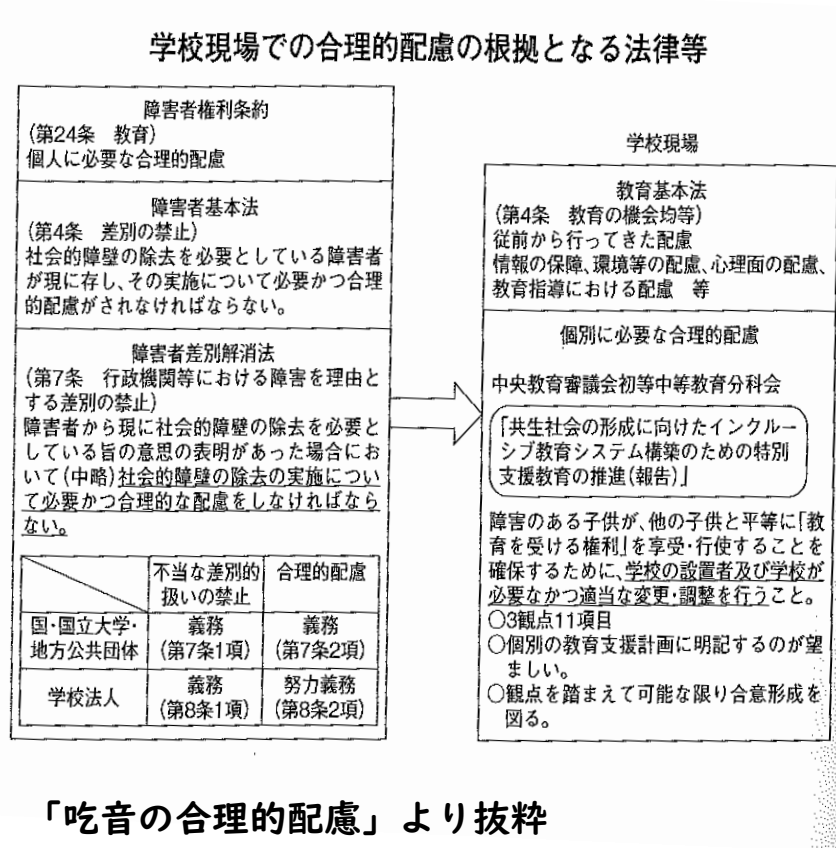
# 今週の「人プロ」 第9回

## 合理的配慮

人プロ 140ページ

令和6年7月18日（木）

# 人プロ 140ページ 「合理的配慮」



## 吃音のある児童への合理的配慮

平等に「教育を受ける権利」を保障しなければならない。**法的義務。**



例えば、吃音のある児童が、クラスの人たちに笑われてしまうから発表したくないと思うこと自体、平等に教育を受けられていないことになる。

# 吃音児童に対する合理的配慮（学校行事）

## ○共通項目

- ・健康観察、本読み（音読）、日直（号令）
- ・劇（学習発表会）、自己紹介
- ・からかい（真似、指摘、笑い）、引っ越し

○1年生 入学式

○4年生 二分の一成人式

○2年生 **かけ算九九**

○卒業式

## 2年生 かけ算九九での合理的配慮



### <配慮>

- ・時間制限を設けず、正しく覚えていたら合格とした。
- ・本人と話をし、出にくいときは、当てない。
- ・一人ひとり吃音の状態や心配なことが違うので、本人と話して何を配慮するかを決めてほしい。

参考図書 「吃音の合理的配慮」 菊池良和著 学苑社